

子育て情報

フッ素塗布を行います

フッ素は、歯質を強くするなど、むし歯予防に効果的です。お子さんのむし歯予防のため、フッ素塗布を受けましょう。

なお、実施日が変更となりましたのでご確認ください。

日時 7月25日(水)午後1時～

7月26日(木)午後1時～

場所 保健センター

対象者 歯の生えている乳幼児から小学生まで

持ち物 母子健康手帳、タオル、コップ、子どもの歯ブラシ

詳細 保健福祉課保健グループ
保健担当(保健センター内)
☎25-3850

子育て支援センターの行事をお知らせします

●『支援センター』楽しい夏祭り』

日時 7月18日(水)午前10時～

内容 金魚すくい・手作りおもちゃゲーム、子ども盆踊り等

対象 就学前のお子さんと保護者

場所 子育て支援センター

●『パパと遊ぼう』土曜日開放

日時 7月21日(土)午前10時～

内容 土曜日開放します。親子遊びを行います。

対象 就学前のお子さんと保護者

場所 子育て支援センター

●はじめてのお誕生会(1歳児)

日時 7月25日(水)午前9時30分～

内容 親子遊び・栄養アドバイザー・歯科衛生士の歯みがきの話など

対象 乳幼児カレンダーをご覧ください。

場所 子育て支援センター

●『びびよママのティータイム』

日時 7月30日(月)午後1時～

内容 身体計測・親子遊び・母親交流

対象 保健グループからご案内があります。

持ち物 母子健康手帳

場所 子育て支援センター

詳細 保健福祉課保育・子育てグループ(子育て支援センター内)

☎25-3192



増えている大腸がん

1年に1回大腸がん検診を受けましょう。

進行するまでほとんど自覚症状がない大腸がんですが、早期発見・治療すれば90%以上完治すると言われていています。

大腸がん患者数が30年で約6倍に

大腸がんにかかる人は、30年前から比較すると約6倍近く増え、がん死亡者の中で第3位、男性は第4位で、女性第1位となっています。大腸がんは、男女ともに40歳代からかかりやすくなります。

町のがん検診で大腸がんが発見される方は、60～70歳代が多いですが、中には30歳代や40歳代の方も発見されています。検診で発見された方のほとんどが、早期がんでした。

検診の一時検査は簡便な便潜血検査

便潜血検査は自宅で2日間の便を採って検査機関に提出するだけです。清里町でも毎年ミニドック検診とレディース検診の時に実施しています。また、今年の実施日を増やし、9月・10月・1月に大腸がん検診を実施する予定です。

便潜血検査で、大腸からの出血が便に混じっていないかどうかを調べ、大腸がんのリスクがあるか確認します。便潜血検査で「陽性」と判定されたからといって「がん」とは限りませんが、何らかの疾患の疑いがあります。「陽性」と判断されたら、必ず精密検査(大腸内視鏡検査等)を受けましょう。

特に大腸がん検診を受けてほしい方

以下の項目に該当する方は大腸がんになりやすいとされています。

- ・血縁者に大腸がんの方がいる方
- ・肉類をよく食べる方
- ・便秘がちな方
- ・運動不足の方

心配な症状としては、「排便時の出血」や「便に血液が付着する」「便の形が細くなった」「便秘がひどくなった」などがあります。これらの症状は肛門の近く(直腸)のがんでみられることがありますが、最近は大腸のより奥の方にがんが見つかることが多くなっており、無症状や腹部違和感といった症状しかない場合もしばしばです。

自覚症状がないときにこそ検診を!

早期の大腸がんでは、ほとんど自覚症状を感じることがありません。症状を感じて病院で見つかる場合、進行がんであることが多いです。大腸がん検診で見つかるがんの60%は、完治が見込める早期がんです。一方で、自覚症状や異常がでてから病院で見つかるがんの約80%は進行がんと言われていています。早期に発見・治療できるかどうかで、その後の治療の結果に大きな差が出ます。

早期の段階でがんを見つけて治療するためには、自覚症状が無い時にこそ、定期的に検診を受けることが大切です。定期的に受診し、早期に発見することにより、大腸がんの死亡リスクが60%減ります。